|  |  |
| --- | --- |
| 平成３１年度 | 事業報告書 |

特定非営利活動法人インターナショナル・フォスターケア・アライアンス

１　事業の成果

　　定款上の「事業の種類」ごとに記載してください。

２０１９年度、この法人は以下の事業において、成果を上げた。

1. フォスターユース（児童養護施設や里親家庭を離れた若者たち）事業では、全国の４地域のメンバーが、年間を通じて若者リーダーとしてのスキルを磨くプログラムを作成・実践し、アメリカのフォスターユースとも交流・恊働した。その結果、地域グループのメンバーの数が２割増加しただけでなく、講演活動での意見表明や、自らの経験を綴った文章を掲載した出版物をつうじて、当事者の権利擁護護運動を推進し、社会的養護の経験者の地位向上に貢献した。
2. 養育者たちの支援の充実を目指す事業については、「Mockingbird Family™」を日本に根付かせ、里親ネットワーク形成にむけたパイロット・プロジェクトを３つの都市で実践し、子どもが安全に暮らせる環境づくりの基礎を築いたのみでなく、養育不調や里親の疲弊・孤立防止などに効果を上げた。
3. また、法人の取り組みのひとつとして、冊子「IFCA ユースプロジェクトVol.7」を発行し、児童福祉に携わる個人や団体に配送した。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　　　　　　　　　　　　　（事業費の総費用3,103千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款に記載  された  事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者  人数 | 受益  対象者  範囲 | 受益  対象者  人数 | 事業費  （千円） |
| 社会的養護の当事者のための事業 | 社会的養護の当事者（フォスターユース）の国際交流を図り、リーダーシップ育成を図るために、合同会議および交流の機会を提供。 | 通年 | 東京,静岡大阪,福岡 | 20名 | 社会的養護の当事者および関心のある一般市民 | 100名 | 2,435 |
| 養育者のための事業 | 養育者支援の方法である  「MockingbirdFamily™」を日本に根付かせ、里親ネットワーク形成にむけたパイロットプロジェクトを実施。 | 通年 | 東京  札幌市  福岡市 | 13名 | 里親家庭に暮らす子ども | 70名 | 517 |
| 児童福祉の仕事に携わる人たちのための事業 | トラウマフォーカスト認知行動療法（TF-CBT）を導入・均てん化する活動を推進する。  専門講師によるTF-CBTの講習を日本各地の心理職を対象に、定期的に行う。 | 実施なし |  |  |  |  |  |
| この法人の事業に必要な資料並びに機関紙の編纂、発行 | 冊子「IFCAユースプロジェクトvol.7」を編集し発行した。 | 令和元年  12月 | 東京都 | 4名 | 一般市民 | 300名 | 151 |